

平成26年度事業報告書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

法人の名称 特定非営利活動法人子ども虐待
ネグレクト防止ネットワーク

1 事業の成果

特定非営利活動に係る事業については、原則として、昨年度の事業内容を継続した。従って、主たる事業は、ケースワーク事業、オンブズパーソン活動、研究・研修事業、啓発事業である。

啓発事業のうち、乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)予防教育事業は、昨年度に引き続き、当法人が全国で事業を実施している医療機関の事業継続を支援するとともに、SBS 予防教育実施医療機関のさらなる増加に努めた。

昨年度に引き続き、ChildFirst Japan ファカルティによる RIFCR™ 研修を継続する。ChildFirst™ が採用プロトコルを RATA[®] プロトコルから ChildFirst™ 司法面接プロトコルに変更したことを受けて、ChildFirst Japan も ChildFirst™ 司法面接プロトコルを用いた司法面接研修に、年度途中で切り替えた。

ただし、これらの研修事業は、特定非営利活動に係る事業会計と切り離し、ChildFirst Japan 特別会計で管理した。なお、この ChildFirst Japan 特別会計は、特定非営利活動に係る事業と収益事業とに分け、当法人が会場を準備し、受講者を募集して実施するセンター型 RATA[®] 司法面接研修とセンター型 RIFCR™ 研修を特定非営利活動に係る事業とし、自治体等の団体・組織から招聘され、委託事業として実施する出前型 ChildFirst™ 司法面接研修と出前型 RIFCR™ 研修を収益事業とした。

これによって、収益事業は、一般会計収益事業と ChildFirst Japan 特別会計収益事業の二つに分けられることとした。

なお、今年度の新規事業として、当法人発足当初からの祈願であった子どもの権利擁護センター事業を開始した。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

①子ども虐待・ネグレクトのケースワーク事業

ア ケースワーク事業

- ・内 容 児童相談所・各市町村等が開催する個別ケース検討会議等に、要請に応じて出席し、事例の重症度判定およびケースワーク方針等について助言・協力した。
- ・日 時 虐待・ネグレクトの事例が発見され、個別ケース検討会議の必要が生じたとき
- ・場 所 児童相談所、市町村役場、保育所・幼稚園・学校等
- ・従事者人員 各回1～3人
- ・対 象 者 虐待・ネグレクトの専門家で当該事例に関わる人、各回3～10人
- ・事業収益 0円
- ・費用額 0円

イ 子どもの権利擁護センター事業

- ・内 容 福祉医療機構(WAM)助成金とFIT (Financial Industries in Tokyo)支援金および賛助会員 内海 裕美氏の他、多数の会員や一般市民からの寄附金を活用して、小田急線伊勢原駅南口の近くに『子どもの権利擁護センターかながわ』を開設した。この『子どもの権利擁護センターかながわ』が子どものためのワン・ストップ・センターとなって、虐待・ネグレクトなどの人権侵害を受けたと疑われる子ども 1 名対して、司法面接と系統的全身診察を実施した。
- ・日 時 児童相談所、市区町村、警察、検察等の要請に応じて、平成27年2月7日以降通年。原則として、週1回(水曜日)午後1時30分～6時
- ・場 所 この法人の事務所の中に設置された『子どもの権利擁護センターかながわ』
- ・従事者人員 各回4～6人
- ・対 象 者 虐待・ネグレクトの疑われる子ども、原則として1日に1人ずつ
- ・事業収益 8,931,884円(寄附金;5,806,215円、WAM助成金;3,055,000円、司法面接料金;30,432円×1人、診察料金;40,000円×1人、受取利息;237円)
- ・費用額 2,146,522円(委託費;12,000円、謝金;52,000円、印刷代;156,135円、交通費;1,280円、郵送料;34,051円、消耗品費;583,348円、水道光熱費;9,755円、家賃;720,000円、事務用品費;1,016円、支払手数料;368,341円、減価償却費;208,596円)
- ・固定資産 8,977,233円(内部建築物一式;4,088,595円、建物附属設備;1,639,890円、器具及び備品;2,313,817円、一括償却資産;334,931円、敷金;600,000円)

②子ども虐待・ネグレクトを扱う行政機関に対するオンブズパーソン活動

ア 苦情相談

- ・内 容 電話もしくは事務局窓口にて、行政機関利用者からの虐待・ネグレクトの処遇に関する苦情を受理し、相談に応じ、必要があれば行政への提言を行った。
- ・日 時 通年、週1回(水曜日)午前10時～午後1時
- ・場 所 この法人の事務所
- ・従事者人員 各回2人
- ・対 象 者 虐待・ネグレクトに関して行政機関を利用した者
- ・事業収益 0円
- ・費用額 0円

③研究・研修事業

ア 研修会

- ・内 容 虐待・ネグレクトの専門家を対象とした研修会の開催した。
- ・日 時 平成26年5月24日(講師;CMPN理事長 山田 不二子)、平成26年7月26日(講師;CMPN理事長 山田 不二子)、

平成26年11月29日(講師;CMPN理事 青木 豊)、
平成27年2月7日(講師;CMPN理事長 山田 不二子)、
計4回

- ・場 所 伊勢原シティプラザ、神奈川県総合医療会館等、子どもの権利擁護センター
かながわ 2階 研修室
- ・従事者人員 約10人
- ・対 象 者 子ども虐待・ネグレクトの専門家
- ・参 加 者 各回12~27名(延べ57人)
- ・事業収益 93,000円(会員1,000円×18人、非会員2,000円×37人、学生500円
×2人)
- ・費用額 84,203円(講師料;20,000円、郵送料;48,052円、会場使用料;10,584
円、雑費;346円、減価償却費;5,221円)

イ 電話相談員等ボランティア養成事業

- ・内 容 「虐待相談かながわ」の電話相談員等、子ども虐待・ネグレクトの防止活動
ボランティアを養成するための講座の開設
- ・日 時 年1講座(平成26年5月~7月)
基礎講座2時間30分×4回(5月7日、14日、21日、28日)
(講師;理事長 山田 不二子)
実践講座3時間×3回(6月4日、11日、18日)
(指導者;この法人の電話相談員4人)
応用講座2時間30分×4回(6月25日、7月2日、9日、16日)
(講師;理事長 山田 不二子)
- ・場 所 伊勢原シティプラザ、伊勢原市立中央公民館
- ・従事者人員 1~10人
- ・対 象 者 一般市民の中で電話相談員等子ども虐待防止ボランティア活動を志望する者
- ・参 加 者 基礎講座17人、実践講座8人、応用講座6人
- ・事業収益 136,000円(0円×17人+8,000円×8人+12,000円×6人)
- ・費用額 80,268円(講師料;72,000円=6,000円×4人×3日、郵送料;492
円、会場使用料;7,776円)

ウ イブニング・カンファランス

- ・内 容 他機関からのコンサルテーションに応じるために事例検討会を開設
- ・日 時 月1回、午後6時~8時、計7回(5回中止)
平成26年6月4日(水)、7月2日(水)、9月3日(水)、10月1日(水)、
12月3日(水)、平成27年1月7日(水)、3月4日(水)
- ・場 所 当法人のCMPN事務所
- ・従業者人員 4~6人
このうち、理事長 山田 不二子と理事 山本 伊佐夫の2人はスーパーバイザー
- ・対 象 者 この法人の電話相談員と正会員および子ども虐待・ネグレクトに関わる専門

家（守秘義務を課されている者）

- ・事業収益 0円
- ・費用額 0円（講師料；0円、会場使用料；0円）

エ ChildFirst Japan センター型 RIFCR™ 研修

- ・日時 平成26年4月20日（日）、5月18日（日）、10月5日（日）、12月21日（日）、平成27年2月1日（日）、3月15日（日）
- ・場所 神奈川総合医療会館、プロミティあつぎ
- ・講師 ChildFirst Japan RIFCR ファカルティー 各回4人
- ・対象者 小・中・高校の養護教諭や幼稚園教諭・保育士など、子どもの性虐待を発見しやすい職種に従事する者、各回定員40人
- ・従業者人員 6～7人（このうち、4人はRIFCR ファカルティー）
- ・参加者 各回24～39人（延べ198人）
- ・事業収益 1,664,044円（受講料；8,000円×197人+0円×電話相談員1人、雑収益；キャンセル・欠席者受講料8,000円×11人、受取利息；44円）
- ・費用額 639,202円（ファカルティー謝金；167,000円、ファカルティー交通費；121,388円、ファカルティー食費；63,000円、会場費；プロミティあつぎ19,000円、バインダー印刷費；162,740円、事務用品費；13,136円、郵送料；7,616円、支払手数料；85,322円、）

オ ChildFirst Japan センター型 RATAAC® 司法面接研修

- ・日時 センター型 RATAAC® 研修：平成26年5月29日（木）～6月2日（月）
- ・場所 プロミティあつぎ（神奈川県・本厚木）
- ・講師 ChildFirst Japan RATAAC ファカルティー 7人
- ・対象者 全国の児童相談所職員、警察官、検察官、家庭裁判所調査官、弁護士、医師・看護師等医療職などの多職種専門家、各回定員20人
- ・従業者人員 8～10人（このうち、7人はRATAAC ファカルティー）
- ・参加者 20人
- ・事業収益 1,100,031円（センター型研修；60,000円×18人+10,000円×電話相談員2人、受取利息；31円）
- ・費用額 678,674円（アクター委託料；90,000円、アクター交通費・宿泊費；50,004円、ファカルティー謝金；137,667円、ファカルティー交通費・宿泊費；93,384円、ファカルティー食費；86,000円、会場使用料；プロミティあつぎ149,800円、マニュアル印刷費；20,520円、事務用品費；3,233円、消耗品費；2,852円、郵送料；12,708円、支払手数料；1,350円、雑費；8,391円、減価償却費；22,765円）

カ ChildFirst Japan RATAAC® ピアレビュー

- ・日時 平成27年1月23日（金）

・場 所	神奈川県歯科大学附属横浜研修センター
・講 師	ChildFirst Japan RATAC ファルティナー 3人
・対 象 者	ChildFirst JapanRATAC [®] 司法面接研修受講者 定員20人
・従業者人員	8～10人（このうち、7人はRATAC ファルティナー）
・参 加 者	9人
・事業収益	23,000円（4,000円×5人＋1,000円×3人＋0円×1人）
・費用額	26,264円（ファルティナー謝金；5,000円、ファルティナー交通費；940円；会場費；20,000円、支払手数料；324円）

④啓発事業

ア 学術集会

・内 容	第17回子ども虐待防止シンポジウム 学術集会 特定非営利活動法人子ども虐待ネグレクト防止ネットワークとの二者共催で「どうすれば、子どもを傷つけることなく、守っていけるのか？」をテーマとして、子ども虐待初期対応における多機関連携チーム(MDT)の重要性を研修する。特定非営利活動法人子ども虐待ネグレクト防止ネットワークと共に「第17回子ども虐待防止シンポジウム事業体」を組織し、両法人正会員のの中から実行委員を選出して企画運営を行った。経理は「平成26年度子ども虐待防止シンポジウム事業特別会計」で管理した。
・日 時	平成27年1月24日（土）
・場 所	横浜シンポジア（横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル）
・従事者人員	12～15名
・対 象 者	児童福祉・母子保健・医療・教育・司法・警察の各関係者 約260人
・参 加 者	145人（参加者実数2日間；151人、参加費納入者数；165人）
・事業収益	2,327,023円（特定非営利活動法人かながわ子ども虐待ネグレクト専門家協会との協働による第17回子ども虐待防止シンポジウム事業体「平成26年度子ども虐待防止シンポジウム事業 特別会計」で処理した。）
・費用額	3,079,294円（拠出金；752,271円）

イ パネル・ディスカッション

・内 容	第17回子ども虐待防止シンポジウム パネル・ディスカッション 午前の部：「本音で語ろう。『なぜ、連携しないの？』」 午後の部：「本気で語ろう。『どうやったら、子どもを傷つけずに守れる制度を作れるの？』」
・日 時	平成27年1月25日（日）
・場 所	横浜シンポジア（横浜市中区山下町2番地 産業貿易センタービル）
・従事者人員	12～15名
・対 象 者	児童福祉・母子保健・医療・教育・司法・警察の各関係者 約260人
・参 加 者	124人
・事業収益	特定非営利活動法人かながわ子ども虐待ネグレクト専門家協会との協働によ

る第17回子ども虐待防止シンポジウム事業体「平成26年度子ども虐待防止シンポジウム事業 特別会計」で処理した。

・費用額 0円（学術集会で一括計上）

ウ 乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)予防教育事業

・内容 神奈川県と伊勢原市が米国のプログラムを元に共同開発した乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)予防教育プログラムおよびカナダで開発された PURPLE Crying という SBS 予防教育プログラムを全国の事業協力病院が実施するのを支援し、SBS 予防教育実施医療機関のさらなる増加を図った。

・日時 通年

・場所 伊勢原協同病院、東海大学医学部附属病院、医療法人恵生会 恵生会病院、愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院、徳島大学医学部附属病院、やはたウィメンズクリニック、おおたレディースクリニック、医療法人下田産婦人科医院(新規)、神奈川県立足柄上病院(新規)

・従業者人員 4～6人

・対象者 指導者研修：各病院産科病棟・新生児室の看護師・助産師

プログラム受講者：各病院で出生した新生児の両親・親族、母親父親学級受講者

電話追跡調査：プログラム受講者のうちの約2割

・事業収益 0円

・費用額 0円

エ ニュースレターの発行

・内容 ニュースレターを発行した。

・日時 年1回、平成27年1月（300部）

・場所 この法人の事務所

・従事者人員 6～10人

・対象者 この法人の会員等、約300人

・事業収益 0円

・費用額 0円（管理費に計上）

オ インターネット・ホームページの開設

・内容 インターネット・ホームページを平成14年4月に開設し、今年度も継続した。

・日時 通年

・場所 この法人の事務所

・従事者人員 1人

・事業収益 0円

・費用額 178,604円（管理委託料；153,021円、プロバイダ支払料金；25,583円）

カ 子ども虐待防止世界会議 名古屋 2014 パネル展示

- ・内 容 子ども虐待防止世界会議 名古屋 2014（第20回 ISPCAN 世界大会・第20回 JaSPCAN 学術集会）に参加し、啓発活動の一環として当法人活動を紹介するパネルを展示する。
- ・日 時 平成26年9月14日（日）～17日（水）
- ・場 所 名古屋国際会議場
- ・従業者人員 3～5人
- ・対 象 者 子ども虐待防止世界会議 名古屋 2014 参加者
- ・事業収益 0円
- ・費用額 2,135円（展示物送料；1,620円、事務用品費；515円）

（2）収益事業

①電話相談事業

ア 虐待相談かながわ

- ・内 容 電話相談員養成講座を受講した電話相談員が虐待・ネグレクトをする保護者からの電話相談を通して、事例のモニタリングとカウンセリングを行い、虐待・ネグレクトの専門家からの相談にも対応して、助言・協力を行った。さらに今年度も昨年度に引き続き、児童虐待防止推進月間である11月に、全国の民間団体と協力して、全国一斉「子育て・虐待防止ホットライン」を実施した。
- ・日 時 通年、週1回（原則として水曜日）午前10時～午後1時
11月の週末に今年度の全国一斉「子育て・虐待防止ホットライン」を1回実施する。
- ・場 所 この法人の事務所
- ・従事者人員 各回2人～4人
- ・対 象 者 虐待・ネグレクトをする保護者、虐待・ネグレクトに関わる専門家等
各回0～4人、相談受理件数延べ56件
- ・事業収益 367,200円
- ・費用額 247,368円（相談用電話料金；113,541円、電話相談員交通費；35,740円、駐車料金；92,660円、消耗品費；1,285円、修繕費；工事代1,944円、事務用品費；1,229円、減価償却費；969円）

②研究・研修事業

ア クローズド・カンファランス

- ・内 容 この法人の電話相談員の資質と専門性の向上のための事例検討会の開設
- ・日 時 年12回、原則として第3月曜日の午後2時45分～4時45分（2回中止）
平成26年4月21日、5月19日、6月16日、7月14日、
8月18日、10月27日、12月15日、
平成27年1月19日、2月16日、3月16日
- ・場 所 伊勢原シティプラザ 1階 会議室、3階 特別会議室、4階 青年部活動室
当法人の事務所

- ・講師 山田不二子理事長（スーパーバイザー）
- ・従業者人員 2～3人
- ・対象者 この法人の電話相談員3～8人
- ・事業収益 100,000円
- ・費用額 4,428円（会場使用料；4,212円、消耗品費；216円）

イ ChildFirst Japan 出前型 RIFCR™ 研修

- ・日時 平成26年6月14日(土)：兵庫県
平成26年7月5日(土)：東京都
平成26年7月21日(月祝)：福岡県
平成26年8月1日(金)：京都府
平成26年8月29日(金)：京都府
平成26年10月12日(日)：北海道
平成26年11月3日(月祝)：三重県
平成26年12月7日(日)：群馬県
平成27年2月21日(土)：兵庫県
平成27年2月22日(日)：香川県
- ・招聘元 平成26年6月14日(土)：兵庫県立塚口病院
平成26年7月5日(土)：ECPAT / ストップ・子ども売春の会
平成26年7月21日(月祝)：博多ウィメンズカウンセリング
平成26年8月1日(金)：宇治市教育委員会
平成26年8月29日(金)：京都府家庭支援総合センター
平成26年10月12日(日)：北海道子どもの虐待防止協会道南支部
平成26年11月3日(月祝)：女性と子どものヘルプライン・ME
平成26年12月7日(日)：群馬県 MSW 協会
平成27年2月21日(土)：兵庫県立塚口病院
平成27年2月22日(日)：四国こどもとおとなの医療センター
- ・場所 平成26年6月14日(土)：市民健康開発センターハーティ 21
平成26年7月5日(土)：矯風会本館
平成26年7月21日(月祝)：博多バスターミナルビル
平成26年8月1日(金)：宇治市生涯学習センター
平成26年8月29日(金)：京都府家庭支援総合センター
平成26年10月12日(日)：函館短期大学
平成26年11月3日(月祝)：三重県総合文化センター
平成26年12月7日(日)：高崎市地域福祉交流センター
平成27年2月21日(土)：尼崎市女性センター・トレピエ
平成27年2月22日(日)：四国こどもとおとなの医療センター
- ・参加者 平成26年6月14日(土)：兵庫県立塚口病院 32名
平成26年7月5日(土)：ECPAT / ストップ・子ども売春の会 39名
平成26年7月21日(月祝)：博多ウィメンズカウンセリング 39名
平成26年8月1日(金)：宇治市教育委員会 39名

	平成26年8月29日(金)：京都府家庭支援総合センター 28名
	平成26年10月12日(日)：北海道子どもの虐待防止協会道南支部40名
	平成26年11月3日(月祝)：女性と子どものヘルプライン・ME 39名
	平成26年12月7日(日)：群馬県MSW協会 39名
	平成27年2月21日(土)：兵庫県立塚口病院 36名
	平成27年2月22日(日)：四国こどもとおとなの医療センター 40名
・講師	ChildFirst Japan RIFCR ファカルティー 各回4人
・対象者	小・中・高校の養護教諭や幼稚園教諭・保育士など、子どもの性虐待を発見しやすい職種に従事する者、各回定員40人
・従業者人員	6～7人(このうち、4人はRIFCR ファカルティー)
・事業収益	3,671,024円(尼崎；421,200円、矯風会；251,424円、福岡；433,576円、宇治；375,280円、京都；382,989円、函館；542,786円、三重；371,671円、群馬；230,620円、尼崎2回目；326,160円、香川；335,255円、受取利息；63円)
・費用額	2,093,784円(ファカルティー謝金；302,000円、ファカルティー宿泊費・交通費；1,228,839円、ファカルティー食費；211,000円、バインダー印刷費；292,930円、事務用品費；30,014円、消耗品費；687円、郵送料；17,772円、支払手数料；10,542円)

ウ ChildFirst Japan 出前型 ChildFirst™ 司法面接研修

・内容	自治体等の団体・組織からの招聘に基づき、NCPTC (National Child Protection Training Center)が開発したChildFirst™ 司法面接プロトコルを多機関連携チーム(MDT：Multidisciplinary Team)で構成された受講者に研修し、MDTの枠組みで司法面接を実施する体制を各地に構築した。
・日時	横浜市第3回研修：平成26年11月13日(木)～17日(月)
・場所	横浜市第3回研修：横浜中央児童相談所
・講師	ChildFirst Japan ファカルティー(子どもの司法面接NCPTC認定トレーナー)7人
・対象者	各県・政令市で活動する児童相談所職員、警察官、検察官、家庭裁判所調査官、弁護士、医師・看護師等医療職などの多職種専門家、各回定員20人
・従業者人員	8～10人(このうち、7人はChildFirst Japan ファカルティー)
・事業収益	999,978円(横浜市；999,972円、受取利息；6円)
・費用額	1,037,004円(アクター委託料；90,000円、アクター交通費・宿泊費；43,560円、ファカルティー謝金；137,667円、ファカルティー宿泊費・交通費；178,321円、ファカルティー食費；87,000円、マニュアル印刷費；126,901円、事務用品費；7,171円、消耗品費；27,963円、郵送料；15,984円、支払手数料；3,574円、雑費；14,295円、ChildFirstプロトコル翻訳料；298,320円、会場費；6,048円、租税公課；200円)

③ 専門家派遣事業

ア 講演会・講義等に対する講師派遣

- ・内 容 この法人に対して、他団体から講演会・講義等の講師の招聘があったときに、当法人の役員や正会員を派遣した。
- ・日 時 神奈川県立 保健福祉大学：平成26年6月3日、10日、17日
日本看護協会 看護研修学校：平成26年5月23日、27日、
平成26年6月5日、9日、20日、27日、
30日
横浜市中央児童相談所：平成26年6月8日、8月11日
かながわ共同会 秦野精華園：平成26年6月23日、8月4日、
平成27年2月27日
静岡市子ども家庭課：平成26年7月4日
都筑区福祉保健センター：平成26年7月17日
横浜市西部児童相談所：平成26年7月7日、平成27年2月9日
熊本警察本部広報県民課：平成26年10月10日
神奈川県民局 次世代育成課：平成26年10月16日、11月11日、
12月2日
青葉区こども家庭課：平成27年1月8日
海老名市 子育て支援課：平成27年2月5日
社会福祉法人 雲柱社：平成27年2月13日
宇治久御山児童生徒補導連絡会：平成27年2月23日
函南町福祉課：平成27年3月6日
神戸市医療センター中央市民病院：平成27年3月24日
- ・場 所 招聘地
- ・講 師 この法人の役員または正会員
- ・従業者人員 1～3人
- ・対 象 者 招聘元が招集した参加者
- ・事業収益 1,345,848円（講師派遣料；1,345,817円、受取利息；31円）
- ・費用額 149,630円（交通費；149,630円）

イ 司法面接者・診察医派遣

- ・内 容 この法人に対して、児童相談所・警察・検察等から司法面接者・虐待被害児診察医の派遣要請があったときに、当法人の ChildFirst Japan ファカルティーを派遣した。
- ・日 時 2回
- ・場 所 招聘地
- ・派遣者 この法人の ChildFirst Japan ファカルティー
- ・従業者人員 1～3人
- ・対 象 者 招聘元が関わっている虐待被害児や犯罪を目撃した児童
- ・事業収益 66,288円（専門家派遣料；66,288円）

・費用額 53,435円（謝金；25,000円、交通費；1,000円、郵送料；14,065円、消耗品；13,370円）

ウ 原稿執筆

・内容 伊勢原市教育センター教育情報誌「伊勢原教育」第22号の原稿を執筆した。
・日時 平成27年1月
・場所 この法人の事務所
・従事者人員 1～2人
・対象者
・事業収益 15,000円（原稿料；15,000円）
・費用額 0円

④アナトミカル・ドール販売事業

・内容 国際的に定評のある Teach-a-Bodies 社製アナトミカル・ドールの仲介販売を行った。
・日時 随時
・場所 当法人の事務所
・従業者人員 2～4人
・対象者 京都府警察本部・兵庫県立塚口病院・四国こどもとおとなの医療センター
・事業収益 440,968円
・費用額 317,045円（ドール24体仕入れ；310,840円、郵送料；4,752円、消耗品費；103円、支払手数料；1,350円）

(3) その他の事業

①チャリティー事業

ア 『子どもの権利擁護センターかながわ』開設記念パーティー

・内容 この法人の正会員・賛助会員の親睦および特定非営利活動に係る事業の不足分資金の調達のために会費制の会食会を行った。
・日時 平成27年2月7日
・場所 伊勢原第一ホテル レストラン不二
・従業者人員 5～10人
・対象者 「子どもの権利擁護センターかながわ」開所式ご出席者 他 42人
・事業収益 393,000円（会費；12,000円×29人＋5,000円×9人＋0円×4人）
・費用額 205,000円（パーティー飲食代）